# 運営推進会議、介護·医療連携推進会議記録

日時	2024年9月11日 (水) 14:00~15:30
事業所名	医療生協さいたま生活協同組合 ヘルパーステーションいぶき
サービス種別	定期巡回随時対応型訪問介護看護
記録者	望□ 佳△恵
出席者( 12 名)	●ケアセンターかがやき/1名様 ●ケアセンターすこやか/1名様  ●芝居宅介護支援事業所/1名様 ●芝伊刈地域包括支援センター/1名様  ●訪問看護ステーション虹/1名様 ●訪問看護ステーションルピナス/1名様  ●老健みぬま/事務長他1名様 ●埼玉協同病院/相談員・看護師各1名様  ●まちづくりコーディネーター/2名様
会議項目・内容	別紙のとおり
所見・課題・その他	老人保健施設みぬまの「みぬまひろば」にて集合し開催
	【芝居宅介護支援事業所/居宅介護支援専門員様】
	・事例の利用者を担当していた。実は、息子様の死を電話で聞いたご本人に立
	ち会っており何とも言い難い気持ちになった。施設入所まで1週間あればできるはずだったが、借金等の理由から少し延びてしまった。
	<ul><li>・いぶきはマンパワーを持っているのですぐにお願いした。そして施設入所に力を注ぐことができた。</li></ul>
	【埼玉協同病院/相談員様】
	・同居の家族が介護力低く本人も動けずおむつ対応となった時、いぶきの定期 巡回を使った。事業所が近い為、利用しやすい。今後提案をしていきたい。 【埼玉協同病院/看護師様】
	・定期巡回をもっと学習して、今後に生かしていきたい。
	【老健みぬま/事務長様】
	<ul> <li>・認知症の利用者の支援会議を行った。夏冬は入所して自宅に戻られたときは定期巡回を利用している。この繰り返しで何年も使っている利用者もいる。</li> <li>・急性期から退院された利用者の対応がいぶきは強い。臨機応変の対応。安定してくると定期巡回を卒業し訪問介護に切り替える提案もしてくれるので心強い。今後も在宅への連携強化をはかっていきたい。</li> </ul>
	【訪問看護ステーション虹/管理者様】
	・終末期だと体調が変化しやすいので臨機応変にサービス内容や回数等対応が 変更できるのが助かる。
	・不安の訴えや転倒、排泄依頼等の緊急コールの対応をいぶきが間に入る事で、 医療に専念しやすい。
	・状態の変化を毎日ヘルパーが訪問する事で把握しやすい。また、認知症で時間がわからなる事もあるがヘルパーが毎日入ることで昼夜逆転予防になる事もある。

#### 【訪問看護ステーション/看護師様】

・終末期で定期巡回が入ることで生活等の安定化が迅速である。訪問看護の介 入が楽である。

#### 【ケアセンターかがやき/管理者様】

・行政ではっきりとした回答を得られず、まだまだ知られていないサービスであるように思える。川口市で定期巡回の事業所は多い。のびしろのある定期巡回のサービスをサポートしていきたいと思っている。事業所が遠い地域も法人内外でサポートしていきたい。

## 【ケアセンターすこやか/介護福祉士様】

・開始して1年になる。かがやきからすこやかに転勤して1か月となる。違い もあり、すこやかでは安否確認や見守りが多い。訪問看護との連携や相談が 課題としてある。かがやきやいぶきとの足並み合わせていきたい。

## 【まちづくりコーディネーター】

- ・ 高齢者も実際に介護を受ける立場にならないとわからない人が多い。これからも紹介を続けていきたいと思っている。
- ・ふれあい生協病院に地域包括病棟ができていて連携できる可能性がある。 11月開催予定のふれあい健康まつりも該当するので一緒に紹介したい。

## 【芝伊刈地域包括支援センター/相談員様】

・事例の利用者の相談を受け協力した。後追い自殺等の不安要素があったので、 借金については生活福祉課に相談しつつ見守り目的でいぶきを利用する事に なった。精神的な支えになってもらい施設入所につなげられたと思っている。

# 【質疑応答】

特になし

#### 【閉会】CC きょうどう所長 平泉

地域密着事業は法人の理念に通じている。生協10の基本ケアの推進とともに 自立した在宅生活を支援していきます。

介護報酬改定で求められている役割として地域とのつながりをより強化した ヘルパーステーションとして邁進していく所存です。

次回の会議予定日

2024年 3月頃 予定

- ※ 記入欄は適宜調整してください。収まりきらない場合は2枚以上でも差し支えありません。
- ※ 会議の記録は、この書式以外でも差し支えありません。